

2019年度 二葉ファッションアカデミー 事業実績

<学校情報の基準項目>

- 項目1 学校の概要、目標及び計画
- 項目2 各学科等の教育
- 項目3 教職員
- 項目4 キャリア教育・実践的職業教育
- 項目5 教育活動・教育環境
- 項目6 学生の生活支援
- 項目7 学生納付金・修学支援
- 項目8 学校の財務
- 項目9 学校評価

1. 学校の概要、目標及び計画

概要

- 学校名 : 学校法人 古屋学園 二葉ファッションアカデミー
所在地 : 〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-3-2
連絡先 : TEL 0422-44-3161 FAX 0422-45-1962
メール info@furuya.ac.jp
校長名 : 吉野 たけし

- 沿革 :
- 1937年(S12) 東京都武蔵野市吉祥寺の現校舎位置に古屋景子が洋裁教室を開講。
 - 1947年(S22) 二葉ドレスメーカー女学院として東京都より認可。
 - 1963年(S38) 学校法人に組織改変、古屋学園の設立認可。
 - 1976年(S51) 二葉服飾専門学校と校名を変更、認可。
 - 1984年(S59) 第4校舎(地上8階)の新校舎竣工。
 - 1985年(S60) 高等課程にて東海大学附属望星高等学校との技能連携を開始。
 - 1993年(H 5) 二葉ファッションアカデミーに校名変更。
 - 1994年(H 6) 専門課程修了者に文部科学大臣告示により専門士の称号付与。

- 2005年(H17) 創立70周年記念事業として、新校舎（地上10階、現校舎）竣工。
- 2012年(H24) 昼間部専門課程にファッション総合学科を新設。
- 2014年(H26) ファッション総合学科が文部科学大臣より職業実践専門課程として認定。オリジナルブランド「ha-ha」を展開、商標登録。東京コレクション（ジャパンファッションウィーク）に専門学校として初の参加を果たす。以来毎年参加。
- 2015年(H27) 文部科学省委託事業「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証を評価する事業」に参画、試行事業として第三者評価を受審。

目標及び計画

建学理念：涵養の精神と職業人としての自立

教育目標：服飾全般について高度な専門的学術を教授練磨し、衣生活の改善向上に真に役立つ技能者を育成して社会に貢献すると共に、生徒の一般教養を高め、その品性を陶冶することを目的とし、その実現に向けて取り組んでいきます。
(学則抜粋)

I 目指す学校

1. 時代に即応し、常に創造・チャレンジをしていく学校。
2. 生徒が希望する進路ニーズに応え、それを全教職員で支援し確実に実現させる学校。
3. 専門的なファッションスキルを身に付け、積極的に社会に参加・貢献出来る人材を育成する学校。
4. 学校行事や学外イベント、各種検定試験の受験等、教職員と生徒が一体となり活動を繰り広げる帰属意識に満ちた活気溢れる学校。
5. 業界団体及び企業・地域と密接に連携する中、真の実学教育を生徒に教授し、職業人として他を思いやり、他と協力する心を持ち、困難な状況に挫けない精神と健康な身体を持つ人間を育成する学校。

II 中期目標と方策

1. 生徒の学校満足度の向上

生徒個々の個性を鑑み、その個性を伸ばし学びの喜びを体得させる。又様々な事柄に対し生徒に的確な助言を与える為、多様な個性に対応出来る教員組織で指導にあたり目標に対しての苦労や達成感を共有・共感することにより生徒の学校満足度の向上を図る。

2. 生徒の希望進路の実現

キャリア教育を全教育活動を通じて推進し、生徒に幅広い視点から自らの進路を考えさせ、目標の設定や意識の向上を図る。学校は、生徒のキャリア計画に対して的確な助言を与え、多様な進路ニーズに対応する為に業界との連携を密にし、より有利な条件で就職すること

が出来るよう太いパイプ作りに努める。

3. 生徒の学習成果の向上

より高いレベルのファッション教育及びより先端的なファッション教育を生徒に教授し、資格検定を奨励し目標を設定したり、自ら学ぶ喜びを体得させ生徒の学習意欲を引き出していく。又、指導の専門性を高める為自校教員の指導力向上を図る研修の充実を奨励する。

2. 各学科等の教育

設置学科 : 服飾専門課程

ファッション総合学科 (昼・2年) 男女 定員 100名

ファッション専攻科 (昼・1年) 男女 定員 10名

服飾一般課程

ファッション本科 (夜・1年) 男女 定員 40名

ファッション技術科 (夜・1年) 男女 定員 40名

服飾高等課程

ファッションデザイン科 (昼・3年) 男女 定員 40名

※東海大学付属望星高等学校技能連携

学科概要 : ●職業実践専門課程

ファッション総合学科 (2170 単位時間) ※専門士称号付与

入学者が業界のあらゆる職種で就業しても対応出来ることを前提に、技術教育・感性教育・人間力教育を三位一体で行うことにより、総合力を養います。1年次は様々な教科を受講するなかで職種の適性を見極め、2年次にそれに合わせた授業を選択します。

●専門課程

ファッション専攻科 (875 単位時間)

服飾専門課程2年修了程度の方が入学出来るクラスです。パターンメイキングを主軸とした授業から、トップクリエイターとして必要なモノ作りにおける完成度・創造性・時代性・製作スピードといった技術や知識を高いレベルで学びます。将来ファッションアントレプレナーとして活躍可能なスキルを身に付けます。

●一般課程

ファッション本科 (840 単位時間)

服作りを中心に基本から応用までの技術を学びます。服作りを究めたい方から将来プロを目指す方まで基礎からじっくりと学びます。

●一般課程

ファッション技術科 (840 単位時間)

本科修了者、または既に服作りの基礎を学ばれた方のクラスです。デザイン発想からパターン設計、より効率的な縫製方法で服を作り上げる一

連の流れをマスターします。

●高等課程

ファッションデザイン科 (2730 単位時間)

3年間を通じ、普通教科と共にファッション・ビューティーに関する専門的な技術・知識を併修します。又、東海大学付属望星高等学校との技能連携により高等学校卒業資格も取得することが出来ます。

入学方法 : 一般入学・推薦入学・A0 入学

※編入学については書類選考及び面接、編入試験により可否を判定。

進級・卒業 : 規定授業日数の3分の2以上の出席、筆記試験及び提出課題の作品評価をもとに成績判定(5段階評価)、卒業・進級判定会議にて校長が卒業・進級を認定。

取得資格 : パターンメイキング技術検定・ファッション色彩能力検定・ファッションビジネス能力検定・ファッション販売能力検定・洋裁技術認定等
(目標)

3. 教職員

教職員数 : 専任教員:9名、講師5名、事務局員5名

教職員組織 : 教務課、広報室、就職支援室、総務室、経理室

4. キャリア教育・実践的職業教育

取り組み状況 (2019 年度実績)

1. リユース商品を使用した商品企画・製作、販売。

連携企業 : MIDWEST (ハイブランドセレクトショップ)

概要 : ファッションデザイナー山田裕二氏監修のもと余剰商品をリメイク、企画デザインから製作・販売を行った。

対象 : ファッション総合学科1年、2年

2. 店舗におけるビジュアルマーチャンダイジング

連携企業 : 株式会社 アダストリア

概要 : ベイフロー吉祥寺店における、商品ディスプレイ及び接客販売。

対象 : ファッション総合学科2年

※高等課程については、2019 年度未実施。

3. 学生オリジナルショップの運営

学生が製作したオリジナル作品及び仕入れ商品を販売する「二葉ファッション・マルシェ」を学生自身が運営、店舗運営の実際を学んだ。

就職支援への取り組み

早期からのキャリアガイダンスを行うことで、進路先のミスマッチを防いでいる。
2019年度の就職希望者に対する就職率は100%となった。

5. 教育活動・教育環境

教育活動

- ・八王子ファッション協議会との連携
- ・吉祥寺活性化委員会への参画
- ・「ハハ」ブランドの東京コレクション参加による産学連携
- ・学校満足度アンケートの実施

学校満足度アンケートを月次で実施。学生、生徒の声を学習活動に活かしている。
2019年度年間平均評価は、5段階評価で高等課程が4.3、専門課程が4.1となった。

授賞実績： 専門/一般課程

- 八王子ファッション都市協議会 「Tシャツデザイン画100選」
クリエイター部門 入選1名

高等課程

- 八王子ファッション都市協議会 「Tシャツデザイン画100選」
高校生部門入選3名
- 「第19回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会」
入選1組

教育環境

UVプリンター、レーザー加工機を設置。大判プリンターと併せ、デジタルでのモノ作りを実践している。学生・生徒一人一人と向き合う教育を基本に、より質の高い先端ファッション教育を実践。

6. 学生の生活支援

生徒の生活上の諸問題については、各課程共に次のことが挙げられる。

1. 学業不振、2. 生活習慣の乱れ（心身の健康）、3. キャリア・進路等、4. 経済的問題、である。いずれの場合も日頃より注意深く生徒と接することで、早い段階での発見を心がけている。又、学業に対してのモチベーション向上・仕事を通じての社会貢献の意義等を、授業等を通じて繰り返し伝えることにより問題の芽を摘むようにしている。問題が発見された場合には、2者面接（生徒・担任）→3者面接（生徒・担任・教務主任）→3者面接（生徒・担任・保護者）→2者面接（生徒・校長）を基本として、問題解決に努めている。

又経済的問題については、教職員と総務室が連携をとりながら様々な就学支援の方策を紹介・提示し、修学が完結出来るようアドバイスを適宜行っている。

7. 学生納付金・修学支援

奨学金等の支援制度

- 日本学生支援機構奨学金制度（第1種奨学金・第2種奨学金）
- 東京都育英資金制度
- 地方自治体の育英奨学資金制度
- 地方自治体の育英奨学金制度
- 国の教育ローン（日本政策金融公庫）
- オリエントコーポレーション提携学費サポートプラン
- 高等学校等就学支援金（年額118,800円） ※高等課程
- 東京都私立高等学校等授業料軽減助成

※経済的理由による学費の延納及び分納については、適宜対応しています。

学校独自の支援制度

- 特待生制度（学校法人古屋学園学費一部免除制度）

8. 学校の財務

※別途記載。

- 消費収支計算書
- 資金収支
- 貸借対照表

9. 学校評価

※別途記載。

- 自己点検評価
- 学校関係者評価